

(別紙2)

令和7年度教員研修計画

キャリア・ライフステージ 研修 実施 機関等		基礎力の形成期			
		初任者研修			
		所属校 (88時間程度)	県教育委員会 Ⅰ(3日間)、Ⅱ(3日間)、 Ⅲ(3日間)	教育事務所 (小中) (1日間)	県教育委員会 (県立) (1日間)
育成指標					
教員としての素養		・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・本県の求める教師像 ・職務内容及び服務に関する基本事項 ・栄養教諭の職務と使命及び役割 ・自己研修の意義と進め方 ・メンタルヘルス不調の要因と対処	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・本県特別支援学校の現状と課題 ・服務とその責任
栄養教諭の専門領域における職務	栄養管理	・児童生徒の食生活や健康状態の実態把握 ・成長期の栄養管理に関する理解	・栄養教諭の職務に関する関係法規についての理解 ・食事摂取基準と学校給食摂取基準の理解 ・学校給食献立の作成、献立計画 ・学校給食献立の作成(地場産物の活用)		
	衛生管理	・学校給食施設の状況の把握と改善 ・検査キット等を活用した衛生管理	・学校給食衛生管理基準の理解 ・衛生管理の基礎と実際(調理員への指導含む) ・食の安全に関する理解 ・関係諸帳簿の理解(作業工程表、作業動線図の在り方) ・学校給食衛生管理改善 ・食中毒発生時の対応		
	給食の時間等における食に関する指導	・食に関する指導の進め方	・食に関する指導の全体計画・年間指導計画の意義と実際 ・学校給食の教材としての活用 ・健康教育の意義と進め方 ・栄養教諭として求められる学習指導要領の理解と活用 ・食に関する指導の体制づくりと指導の実際 ・特別活動の意義 ・職務におけるICT活用 ・カリキュラム・マネジメントの在り方		
	個別的な相談指導	・個別的な相談指導の実際	・カウンセリングの理論 ・個別的な相談指導の体制づくりと指導の実際 ・病態(特に食物アレルギー)に関する基礎的知識の習得 ・個別的な相談指導の在り方と指導の実際 ・スポーツ栄養に関する基礎的知識の習得		
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・児童生徒理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・児童生徒への励ましと賞賛 ・学校における生徒指導体制 ・人権教育の進め方 ・学校行事の指導の実際	・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への対応		
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童生徒への対応 ・いじめ防止とその対応			
	教育相談	・発達支持的教育相談と課題予防的教育相談			
マネジメント力	学校及び共同調理場組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営	・学校及び共同調理場の組織運営		
	危機管理	・学校安全の意義と進め方			
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談の進め方			
復興教育の視点		・「いわての復興教育」の実際	・「いわての復興教育」の意義		
キャリア教育の視点		・キャリア教育の意義と進め方			
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・特別支援教育の理解 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の理解と支援の在り方		
ICTや情報・教育データの利活用の視点		研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、			

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

【栄養教諭 基本研修内容】

基礎力の形成期			
2年目研修		3年目研修	
所属校	県教育委員会	所属校	県教育委員会
自己研修(5時間程度)	(2日間)	自己研修(5時間程度)	(1日間)
- 自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) - 全部で5h程度を目安	自己研修の発表と協議	- 自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) - 全部で5h程度を目安	自己研修の発表と協議
	学校給食の管理の評価		
			学校給食における現代的課題
	- 調理従事者等関係者と連携した食育の在り方 - 職務におけるICT活用		職務におけるICT活用
			いじめ問題への対応
	事件・事故災害発生時の危機管理		
	「いわての復興教育」の在り方		
	キャリア教育の現状と課題		

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。